



二十六聖人

令和3年3月号

(令和3年2月28日発行)

教会だより

2021. 3 No. 334

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296
<http://www.futamatagawa-cc.com/>
主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

きれいな灰

3月になりました。3月は聖ヨセフの取り次ぎを求めて祈る月です。ヨセフはマリアとイエス様の保護者として選ばれましたが、最初は何も知らなかったもので、マリアとの結婚を諦めようとしていました。しかし、夢で天使ガブリエルを通して神様の計画を耳にし、それからその神様の計画を叶える人となったのです。ヨセフはマリアのように、イエス様の十字架の道を共に歩むことはできませんでしたが、きっと、神様の国でその苦難と死を見つめたはずです。きっとヨセフは神様と共に悲しみながらも、救い主の道を最後まで全うされたイエス様を喜ばしく思ったに違いありません。そして今も、すべての人がイエス様のように生きること、また、それによって救われることを願いながら、私たちのために神様に祈ってくださるのです。この月を過ごしながらか、聖ヨセフの取り次ぎに合わせて、私たちの信仰がもっと強くなるよう、お祈りいたします。

さて、今年が始まった途端、2回目の緊急事態宣言が発令され、信者の皆さんとの公開ミサも中止せざるを得なくなりました。その中で2月17日の灰の水曜日からは、今年の四旬節が始まりましたが、その大事な期間も自粛の雰囲気でも過ごさねばなりませんでした。ただ、信者の皆さんの心の中にあるお御堂で、各々私たちのために苦しめられたイエス様と会うことができるようにと祈るばかりです。

ところで、公開ミサはできませんでしたが、とにかく、四旬節の始めの日である灰の水曜日、わたしはナン神学生と一緒にミサを捧げました。そのミサの中で行われる灰の儀式のため、わたしは前日、一人で8本のソテツを燃やしました。量が少なかったため、あっという間に全部燃えましたが、残ったものはまだ荒い粒だったので、その粒を細かくひきました。そしてふと、昔のあるエピソードが頭をよぎりました。

その時、色々な事情があって、香部屋の奉仕者たちを新たに募集しなければなりませんでした。そしてようやく、何人かを集めて香部屋のことを任せましたが、ほとんどが初心者だったので、わたしは彼らに典礼のことを少しずつ教えねばなりませんでした。そんなある日、香部屋の会長が何か悩ましい顔をしてわたしに声を掛けてきました。それは灰の水曜日の準備のことで、どうして「きれいな灰」を作ることができるのかということでした。その会長は初心者ではありませんでしたが、自ら灰を作ったことはなかったそうです。実は、その会長はその時まで、先輩たちが作った「きれいで白い灰」を見てきたので、自分にはそのような灰を作る自信がなかったわけです。その悩みを聞いて、わたしは理解しながらも、何かやや苦しい気持ちになりました。それは「なぜ、灰はきれいでなければならないのか。」と思ったからです。そこで、私はほかの奉仕者の前で、教育の一つとして自ら灰を作って見せました。それは「黒くて荒い灰」でした。勿論、少し細かくしたものでしたが、きれいで白いものではありませんでした。

そもそも灰は自分を悔い改めることを示すためのものです。つまり、罪を犯した人が自分の頭の上に載せる、或いは、振りかけるもので、自分が罪人であることを公にするものなのです。なのに、「きれいで白い灰」とは。信者の皆さんはどう思いますか。

残念ながら、今年の四旬節も公開ミサができない状況の中で過ごしています。しかし、むしろ、こういう状況だからこそ、心の中でイエス様のことをより深く黙想することができると思います。そして、自分の様々な過ちや咎、或いは、悪い習慣などを思い起こしながら、神様の豊かな贖いを祈り求めるべきです。昔、ダビデは次のように祈りました。「あなたは（神様）生贄を望まれず、燔祭を捧げても喜ばれない。神よ、わたしの捧げものは砕かれた心。あなたは悔い改める心を見捨てられない。」と。神様が望まれるのは口だけの回心や密かな後悔でなく、打ち砕かれた心と愛の実践なのです。恐らく、今全ての人の苦しみをいやせる薬はそういった回心と愛ではないかと思えます。自分の勝手な心を繰り返して打ち砕いて、それで白い粉のようにすること、それこそ、神様が喜んでくださる「きれいな灰」ではないでしょうか。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

2月教会委員会報告

【司祭】

2021年二俣川教会の基本方針に私が選んだ聖書の“みことば”は、「私の愛にとどまりなさい」です。今の状況は、昨年からミサが再開されたり中止されたりと1年間続き、社会的にも教会的にも悩み苦しむ日々でした。私達は今、教会の建物からは離れているかも知れませんが、いつも生きておられるイエス様の愛には必ず留まらなければなりません。私達がイエス様の愛から離れたら、私達の活動や悩みや考えは意味のないものになります。再び厳しい状況が繰り返されるかも知れませんが、イエス様の愛によって私たちはこの危機を乗り越えることが出来ると思います。皆さんの日々が健やかであることをお祈りします。

【今月の検討項目】

1. 公開ミサ再開に関して

◇緊急事態宣言が解除された、2週間後から公開ミサを再開します。

・公開ミサ再開案内は、教会緊急連絡網、郵便（事務所手配）、HPにて詳細を案内致します。

・公開ミサ再開に当たって当面は、典礼奉仕は神父様が行いロビー奉仕は5名で実施とします。信徒による典礼奉仕の再開は神父様に判断いただきます。

◎留意点：密を避けるために、ロビー奉仕者以外の方がロビーに滞留したり、話し込むことが無いように致しましょう。

2. 信徒集会に関して

◇信徒集会のあり方に関して：

・信徒集会用資料は、2月末までに作成し配布方法は検討致します。

・信徒集会の方向性判断（順延・中止）は常任委員会にて検討お知らせ致します。

3. その他

◇「世界こども助け合いの日」の1月献金の取り扱いに関して：

・「世界こども助け合いの日」の献金は9万円とします。

公開ミサ中止により信徒より献金協力をいただけない中ですが、2021年度予算計上している9万円を献金額とし、教会一般会計から支出します。また、今回と同様な場合を考え、ルール化を行います。

◇聖堂椅子塗装に関して

・聖堂の椅子が経年変化により白く変色した部分がありましたので、全椅子の再塗装を実施しました。ボランティアで行っていただきましたので、材料費のみで¥17,600でした。

・消毒液はハイター液消毒から、界面活性剤入り洗剤に切り替えてはと言う提案がありました。

◎提案に対して：ミサ対策チームにて最善の方策を検討します。

◇教会所有の写真データ管理体制に関して

・広報にて方向性を検討します。

◎検討内容：広報にてのデータ管理可否・管理方法・管理要員等々。

・平行して教会委員会でも管理体制・方法を考える必要があります。

◇2020年クリスマス献金は434,696円で、年末福祉団体への寄付金額のほぼ50%でした。

◇教会委員会の財務担当がO. S. さんよりN. A. さんに交代します。

(2月の教会委員会はオンラインで開催されました。1月は休会でした。)



2021年四旬節 教皇メッセージ

「今、わたしたちはエルサレムへ上って行く・・・」(マタイ20・18)

四旬節 — 信仰、希望、愛を新たにする時

1. 信仰は、神とすべての兄弟姉妹の前で、真理を受け入れ、そのあかし人となるよう、わたしたちに呼びかけています。
2. 希望は、わたしたちが歩み続けられるようにしてくれる「生きた水」です
3. 愛は、一人ひとりを気づかい思いやりながら、キリストの足取りをたどって生きることであり、私たちの信仰と希望の至高の表現です。

☆詳細はカトリック中央協議会 2021年2月17日四旬節教皇メッセージをご覧ください。

[2021年 四旬節教皇メッセージより カトリック中央協議会 \(catholic.ジェイピー\)](#)

四旬節カレンダー

2月17日：灰の水曜日

2月21日：四旬節第1主日 First Sunday of Lent 福音：マルコ 1・12-15

2月28日：四旬節第2主日 Second Sunday of Lent 福音：マルコ 9・2-10

3月 7日：四旬節第3主日 Third Sunday of Lent 福音：ヨハネ 2・13-25

3月14日：四旬節第4主日 Fourth Sunday of Lent 福音：ヨハネ 3・14-21

3月21日：四旬節第5主日 Fifth Sunday of Lent 福音：ヨハネ 12・20-33

3月28日：受難の主日 Palm Sunday of the Passion of the Lord 福音：マルコ 15・1-39

4月 1日：聖木曜日 Holy Thursday (主の晩餐)

4月 2日：聖金曜日 Good Friday (主の受難) {大斎・小斎}

4月 3日：聖土曜日 Holy Saturday (復活徹夜祭)

4月 4日：復活の主日 Easter Sunday of the Resurrection of the Lord

姜神父様お誕生日のご報告

教会委員会より

1月25日、ヤコブ姜真求神父様は53歳のお誕生日を迎えられました。例年はお誕生日に一番近い主日のごミサでお祝いしていましたが、残念ながら今年はいっしょにお祝いすることが出来ず、教会委員会で代表してお祝いを申し上げ、プレゼントを差し上げました。例年の花束とは趣向を変えて"オブリザタム"という小さな黄色いお花が特徴の蘭の鉢植えをお贈りしました。可愛らしいお花と、とてもお喜び頂けました。あわせて、好きな焼酎もお贈りしました。姜神父様、いつも私たち信徒のために働いてくださりありがとうございます。感謝を込めて、一年のご活躍とご健康を心からお祈りいたします。来年は共に集ってお祝いできますように。

青年会より

少し前の話になりましたが、1月25日は姜神父様の53歳のお誕生日でした。コロナウイルスの影響で、例年のように歌のプレゼントを贈ったり、直接お祝いの言葉を告げるのはとても難しい中で迎えるお誕生日でした。「いつも私たちの為に祈り、導いて下さる神父様のお誕生日をどうにかしてお祝いしたい！神父様が喜ばれることは...なかなか会えない皆さんの笑顔を見ることだ！」っと青年会の仲間と考えました。そこで、DREAMS COME TRUE の『HAPPY HAPPY BIRTHDAY』という曲にのせて、皆さんの笑顔の一つのムービーにまとめ、プレゼントとして贈ることにしました。

教会委員会、教会学校、リーダー方、保護者会、インターファミリー、青年会、韓国人の神父様や神学生、と多くの方々にサプライズの協力を呼びかけました。短期間にも関わらず、とても多くの笑顔がどしどし集まり、編集しながらとても幸せな気持ちになりました。李廷胤神父様からもお茶目な写真と温かいメッセージが届いていましたね！当日はできるだけ多くの信徒の皆様へ呼びかけを行い、19時ぴったりに『主の祈り、アヴェ・マリアの祈り、栄唱』を祈って、離れた場所から心を一つに捧げました。姜神父様は皆様からのサプライズ動画を驚き喜び途中涙しながらご覧になっていました。二俣川教会ファミリーの絆を感じた瞬間でした。コロナで会えない、見えない、出来ないことが増えていますが、私たちは神様のもとでいつも繋がっているし、お祈りを通して一つになれることを再確認出来ました。改めて今回の姜神父様お誕生日サプライズ企画にお力添え頂いた皆様、誠にありがとうございます御座いました。



【編集後記】 皆さまから寄稿をお願いしていたにもかかわらず、緊急事態宣言が延長された影響で、印刷して配布というステップが踏めず、『二十六聖人』への掲載が遅れております。大変申し訳ありません。早く、以前に近いくらいの安全な状況になって、皆さまと教会でお会いし、印刷物をお渡しできる日が来ることを願います。典礼では灰の水曜日も過ぎて、四旬節に入りました。今までの自分の生き方がキリスト者として正しいのかを見直し、心をきれいにして、お恵み多いご復活祭を迎えられますようにと神様に祈るばかりです。(N. F. 記)